

平成 30 年度第 1 回 八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会
議 事 要 旨

1. 開催日時：平成 30 年 7 月 18 日（水） 13:30-14:30
開催場所：生涯学習センター学習プラザ 4 階 大研修室
出席委員：副田委員・石井委員・正田委員・横山委員・水野委員・大西委員・高井委員・堀委員・卯川委員・小垣内委員
2. 議事案件
 - (1) 平成 29 年度第 2 回 八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会会議録の承認について
 - (2) 平成 29 年度 八尾市生涯学習スポーツ課の実施講座について
 - (3) 平成 29 年度 各コミュニティセンターにおける現代的課題講座の実施について
 - (4) 平成 29 年度 生涯学習センター指定管理者事業報告について
 - (5) その他
 - ・八尾市生涯学習センターの指定期間の延長について
3. 意見交換の概要（○：委員、●：事務局、◎：指定管理者）
 - (1) 平成 29 年度第 2 回八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会会議録の承認
 - ※ 全委員異議なし
 - (2) ～ (5) について
 -) 現代的課題について、コミセン間で実施回数に差が出る要因は。
 -) コミセン講座はコミセン運営協議会への委託により実施いただいているが、各地区においてどういったことを学習したいかを、各地区の運営協議会の中で決定していることによる。
 -) 現代的課題の講座実績、地域での共有は。
 -) 毎年、各地区への依頼の際や所長会においても情報共有を図っている。
 -) 文科省においては、生涯学習政策局から総合教育政策局に移行する流れもある。ニーズや課題に踏み込んだ現代的課題の設定が重要となる。
 -) 生涯学習センターの稼働率目標の想定は。
 - ◎) 60%を想定している。
 -) 全国的にも平均稼働率は60%程度となっている。
 -) 施設も、現在のニーズに合わせて改修が必要である。施設改修のための積立などはしているのか。
 -) 施設整備は減価分も公会計では積立できないことになっている。
 -) 防災の観点からの講座の充実が必要である。
 -) まちのなかの達人については、更なる活性化が必要である。
 -) 広報については、利用者のすそ野を広げる努力が必要である。特に、子どもが

目に触れるような広報について、検討が必要と考える。